

Title	彙報
Author(s)	
Citation	懷德. 1964, 35, p. 71-72
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/90400
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

彙報

(懷德堂記念會)

○秋季講座 昭和三十八年九月三十日(月)より十月五日(土)まで、本會及阪大文學部主催、朝日新聞社後援で、阪大本部松下會館講堂に於て、毎日午後六時半より八時まで、懷德堂講座第二十六回開講、聽講者延三百二十名。

演題と講師

米歐を巡つての所感 阪大教授 木村 英一先生

—東西の文化と將來—

日本人の評價 大阪市内多 毅先生

—アメリカとイギリスの場合—

歐米に於ける外國語教育 大阪外大 伊地智善繼先生

—極東語を中心として—

東南アジアの佛教 京大講師 牧田 諦亮先生

—アジアの光—

香港の一年 京大助教授 清水 茂先生

アメリカの日本研究 阪大助教授 梅溪 昇先生

○記念祭典 昭和三十八年十月五日(土)北濱本會(適塾内)に於て、午後一時より記念祭典を執行し、新に鈴木虎雄先生を奉祀した。次いで同一時四十分より記念講演會を開き、大阪大學教授宮本又次先生の「懷德堂の經濟思想」と題する講演があつた。

○評議員中根貞彦氏 昭和三十九年一月二十四日逝去。

○昭和三十九年三月三十一日 理事天野利武氏退任。
○昭和三十九年四月一日 時野谷勝氏(大阪大學文學部長)理事就任。

○春季講座 昭和三十九年五月二十五日(月)より三十日(土)まで、本會及阪大文學部主催、朝日新聞社後援で、阪大本部松下會館講堂に於て、毎日午後六時半より八時まで、懷德堂講座第二十七回開講、聽講者延三百十五名。

演題と講師

論語の郷黨篇 阪大教授 木村 英一先生

陶淵明と現代 神大助教授 一海 知義先生

周濂溪の通書 ノートルダム 女大助教授 佐藤 震二先生

日本上代の詩 大阪市大教授 小島 憲之先生

鄂君啓節について 奈良女子大 大島 利一先生

—楚國の社會と文化—

鏡 花 綠 京大助教授 湯淺 幸孫先生

(懷德堂友會)

○昭和三十八年十月一日『懷德』第三十四號發行。

○同年十月五日懷德堂恆祭に、委員參列、奉仕。

○昭和三十八年十月二十七日(日)滋賀縣金剛輪寺(通稱松尾寺)見學。參加者二十五名。

○昭和三十八年十二月十五日、委員永原武夫氏死去。

○昭和三十九年一月十五日、委員補佐喜多芳子氏死去。右兩氏共多年本會のため盡され、眞に哀悼に堪えない。

○昭和三十九年四月二十九日(日)兵庫縣太山寺を、關西學院大學齊藤孝先生の指導で見學。参加者三十名。(見學後、有志で明石市の本立寺に、懷遠堂初代教授松山直藏先生の展墓をした)

○昭和三十九年七月五日(日)齊藤孝先生の指導で奈良西大寺、般若寺見學、参加者二十名。(西大寺では特に大茶盛りを

いただいた)

○委員異動(昭和三十九年九月一日)委員桐本梅之助(委員補佐)委員川尻進(委員補佐)委員山口正男(委員補佐)委員補佐中川幸三(委員)委員補佐酒井全太郎(委員)委員補佐田中昭子